

## 1.目的

手の入らない狭隘部から腐食したさび片が落下するのを防ぐ簡易な手法や狭隘部の腐食進行を止める技法等を求める。

## 2.背景

都市高速は橋梁構造を多く採用しており、その構造上多くの狭隘部が生じている。代表的な狭隘部として、橋軸直角方向に設置する伸縮装置や上下線の分合流部等に設置している縦目地の伸縮装置等が挙げられる。このような狭隘部は隙間が100mm以下であり、手が入らない等の理由から、十分なメンテナンスが困難であり、腐食が進行している箇所がある。また、そのような都市高速の高架下は交通量の多い一般道となっていることが多数ある。

## 3.現状

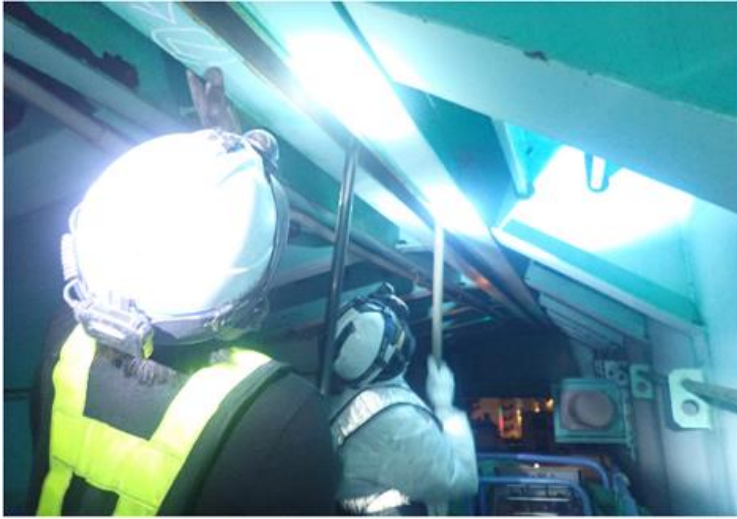
狭隘部で進行した腐食がさび片として路下へ落下する事象が生じてしまった。これを受け、公社ではネット類を用いた落下対策を随時実施しているところ。

## 4.課題

ネット類の設置は街路の規制や高所作業車での作業等から、作業に時間を要するという課題が生じている。また、ネット類での対策は抜本的な解決策とはならないことに加え、ネットのメンテナンスが生じる等の新たな課題が生じている。これらのことから、さらなる施工速度の向上や狭隘部の腐食に対する防錆能力等の向上を目指す必要がある。

# 狭隘部のさび片対策について

〈狭隘部の清掃状況〉



〈狭隘部の点検状況〉



〈狭隘部の腐食状況〉



# 狭隘部のさび片対策について

## 5.求める性能（募集する技術は、下記事項を満足するもの）

- ①狭隘部の**簡易な腐食抑制及び簡易なさび片剥落対策**として利用可能なもの
- ②**高所作業車内での施工**が可能なもの
- ③液体やスプレー等**100mm未満の狭隘部でも使用が可能**なもの
- ④液体やスプレー等の場合、速乾性に優れ、**施工後の液だれ等を生じないもの**

（留意事項）

- ※今回の募集はネット類を除く。
- ※液体やスプレー以外のものでも可。

## 6.使用条件

橋梁点検時等、路下規制のもと**一夜で緊急的に施工する場面**を想定している。

## 7.問合せ先

担当課：企画部 保全管理課（TEL：092-631-3285）

担当者：徳山（E-mail：tokuyama-y5521@fk-tosikou.or.jp）

募集期限：令和4年6月30日